

ピアサポ通信

第1号

令和3年4月発行

この通信は、ピアサポート活動ワーキンググループの様子や拳がった意見をお伝えし、参加者や関連する機関のみなさまとの情報共有をめざして発行しています。

<世田谷区精神障害者等支援連絡協議会 ピアサポート活動ワーキンググループ>

区では、障害福祉計画である「世田谷ノーマライゼーションプラン（令和3～5年度）」で掲げられた「精神障害者施策の充実」に向け、ピアサポーターが活躍する機会を拡充するために、世田谷区精神障害者支援連絡協議会のワーキンググループとして位置付けワーキンググループを設置し、検討を進めます。

※ピアサポート活動の拡充は、障害種別を問わず進めていくことが望ましいものですが、精神障害者支援連絡協議会において協議を進めていることから、まずは精神障害における取り組みを進めていきます。



私たちがピアサポート活動で大切にしたいこと

- 仲間として気持ちに寄り添った支援ができること。
- 色々なところで多様な活躍の機会を創設、拡大し、当事者がそれぞれの経験や心身の状況、強み、希望に応じて活動内容を選択できること。
- 活動内容や頻度等に優劣はなく、どの活動も社会にとって等しく価値があり、尊重されること。
- ピアサポーターとその他の支援者、ピアサポートを受ける人等がフラットな関係、強みの異なる仲間として協働したり、支え合えること。
- 地域で暮らす人々や組織等、社会における障害や病気の理解促進、差別偏見の解消に繋げていくこと。

精神障害者にとってのピアサポート

相談支援センターあらかわ 岡部氏資料

① 共感性

「同じ様な生き辛さの経験」を認め合うことの出来る共有感覚



② 安心感

「理解してもらえる人がいる」ことの安心感



③ 希望(ロールモデル)

「自分もなりたい。」「自分にも出来るかも。」と思える希望(ロールモデル)



第1回 ピアサポート活動
ワーキンググループ
を開催しました

次のページへ！

第1回 ピアサポート活動ワーキンググループを開催しました



テーマ「大切にしたい視点・目指す姿」

第1回ピアサポート活動ワーキンググループでは「大切にしたい視点・目指す姿」をテーマとし、登壇者によるパネルディスカッションを行いました。オンラインで開催し、参加者からの意見や質問を募りながら進めました。

日時：令和3年3月24日（水）午後2～4時

場所：オンライン会議（会場：梅ヶ丘パークホール）

参加人数：65名

事前申込人数：90名（オンライン参加73名、会場参加17名）

＜内訳＞当事者40名、当事者家族2名、支援関係者47名、その他1名

（支援関係者：障害者支援事業所13名、高齢者支援事業所8名、社会福祉協議会8名
病院・訪問看護4名、行政関係8名、学識・アドバイザー4名、その他2名）

パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、共立女子大学の河原教授に進行をお願いし、①就労継続支援B型事業所ハーモニーの利用者と支援者、②世田谷区夜間休日等こころの電話相談事業を受託している地域活動支援センターMOT Aのピア電話相談員の方と支援者、③東京都地域移行促進事業（精神科病院へ長期入院している方の地域移行支援）に携わる支援者、5名の方にパネリストとして、ご登壇いただきました。

世田谷区が目指すピアサポート活動のイメージ図（次ページに掲載）と照らし合わせながら、パネリストの皆様それぞれの活動を紹介いただき「大切な視点・目指す姿」についてお話いただきました。



①ハーモニーのお二人からは、スタッフが過度に利用者に関わるのではなく、一緒に自然に活動できるような環境づくりを大切にしていること。様々な作業や活動を通じて、仲間同士で話し相手になったりなってもらったり、支えられ支えあう仲間の存在の大切さ。障害があっても、同じ立場の仲間と支援者の障害理解があれば仕事は続けられる、という経験談。夕方から自由に集える場所があったらよいこと。ただ居場所を作ればよいのではなく、スタッフや当事者同士で悩みや意見を言いあえる場をつくっていく必要がある、といったことをお話いただきました。

ハーモニーは就労支援事業所としての活動においても、イメージ図左側の「居場所や集まり」によるピアサポート活動を行っていることが共有されました。

②MOT Aのお二人からは、たまたま支援者が不在の中で電話が鳴り、当時利用者の立場で電話を受けたことをきっかけにピア電話相談が始まり、ピア活動が広がったというエピソード。ピア電話相談を受ける際には、電話相談の1本1本を大切に、真摯に向き合うことを大切にしていること。ピアサポート活動をすることで、“いろんな人がいる” “いろんな人生がある”ことを知り、視野が広がり、心が外に向き、自分自身を肯定できるようになったこと。ピアとしての相互支援は日常の様々なところに存在しているものであり、制度や仕事として形づけていくことと日常の自然な関わり合いの、両方を共存できるとよいこと。支援者とピアサポーターの信頼関係が礎にあり、その上で相性も含めてチームとして構築する、といったことをお話いただきました。

MOT Aはピアサポート活動については特に、イメージ図の右側の、より「就労」に近い活動を行っていることが共有されました。

（次のページに続きます）

③東京都地域移行促進事業の支援者の方からは、精神科病院へ長期入院している方への地域移行に向けた支援における、ピアサポートの力・強み・効果。実際に過去に入院経験があるピアサポーターの方が、現在入院してる方に会い、退院後地域で生活している姿やメッセージを伝えることへの力、安心感をもたらすエピソード。病院での入院生活から地域へ戻ったあとの地域生活における、ピアの存在や居場所の必要性をお話いただきました。

また、ピアサポート活動を希望する方の価値観もそれぞれであり、例えば報酬を得て活動したい方、報酬なくゆるやかな活動したい方、どちらも尊重され、活動できること。国においてもピアサポーターの必要性が正式に認められたタイミングでもあり、まず興味のある人がピア養成講座を受講して、活動できること、経験してみても結果的には他の活動をしたいと選択することも尊重されるようにしていけたら良い、ということをお話いただきました。

東京都地域移行促進事業における地域移行支援は、言わばアウトリーチ型の居場所づくりであることが共有されました。



世田谷区が目指すピアサポート活動

区は令和2年度から、「ピア養成講座」を開始し、「長期入院者への病院訪問支援事業」におけるピアサポーターによる動機付け支援、「夜間休日等こころの電話相談事業」におけるピア電話相談員による電話相談をスタートし、当事者の方の力を発揮いただきながら、進めています。（下記イメージ図右側）

今回のパネルディスカッションを通じて、ピアサポート活動としての「居場所」もニーズが高いことがわかってきました。話を聞いてくれる相手がいる場や、活動を促されずその場にいること自体が尊重される場、余暇活動プログラムの提供がある場等も今後拡充していけるように検討していきます。

また、今回挙げられたところ以外にもピアサポートの力を必要とする機会や場があるはずです。ご参加された方からのご意見もいただきました（次ページへ）。今回のワーキンググループで得られた「大切にしたい視点・目指す姿」を踏まえながら、区が目指すピアサポート活動の機会の拡充に向け、みなさまと共に、取り組んでいきたいと思えます。

<世田谷区が目指すピアサポート活動のイメージ図>



活動内容や頻度等に優劣はなく、どの活動も社会にとって等しく価値があり、尊重される。個々の経験や心身の状況、強み、希望に応じて、当事者本人が様々な社会参加の機会を選択できる地域社会の実現。

参加者からのご意見・ご感想

世田谷区ホームページに、ご意見ご感想の詳細を掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

参加された方からのご意見の一部をご紹介します。

今回のテーマ「大切にしたい視点・目指す姿」についての意見

- ・誰もがピアという視点を忘れず生きることが大事だと思います。
- ・ピアという言葉が急に脚光を浴びてきていると感じる。ピアという言葉だけが一人歩きしないよう気を付けたい。
- ・ピアサポートの最大の重要ポイントは、症状は違っても、同じような病による苦しみの体験をしている点です。専門職との協働の中で、このピアならではの強みを、より一層生かしてほしい。
- ・仕事にも、居場所的な要素があるのが健康的だと思う。半円の表で区分けされて示されていたが最終的には全て混ざるのかもしれないと思った。
- ・相談支援に於いて、当事者の意志決定支援を行うにあたって、単に情報を提示するのではなく、支援員や方法、手段の一つとして、ピアスタッフが連携し、信頼、心理的安全性のあるつながりを築くことが先、ということ。

今回のワーキンググループや、ピアサポート活動に関する意見や提案、感想など

- ・ピアサポート活動の大まかな様子や活動されている方の状況を知る上で先駆けとして良かった。
- ・ピアという存在を知らず興味がわき、今回参加させていただきました。障害のある方が活躍できる場としてこのような活動の場があることを知り、益々興味がわきました。
- ・もっと活動する場を広げて欲しい。
- ・今後は病院のケースワーカー等、いろいろな目線でピアというものを語って欲しいと思いました。

今後のワーキンググループの予定

全5回を予定しています

	時期（予定）	テーマ
第2回ワーキンググループ	令和3年6月	人をひろげる
第3回ワーキンググループ	令和3年10月	場をひろげる
第4回ワーキンググループ	令和4年2月	人と場をつなぐ
第5回ワーキンググループ	令和4年5月	まとめ

- ★第2回のワーキンググループの詳細は令和3年5月頃にご案内いたします。下記の世田谷区ホームページをご覧ください。

参加者みなさまがワーキンググループメンバーです！
様々な方のご参加、ご意見をいただきながらピアサポート活動の拡充に向けて取り組んでいきます。引き続き、ご参加をお待ちしております

世田谷区精神障害者等支援連絡協議会 ピアサポート活動ワーキンググループ 事務局

【世田谷区ホームページ】

>目次から探す>福祉・健康>地域保健福祉>保健福祉に関する審議会・委員会等
>世田谷区精神障害者等支援連絡協議会>ピアサポート活動ワーキンググループ

世田谷区 障害福祉部 障害保健福祉課 TEL：03-5432-2247 FAX：03-5432-3021